

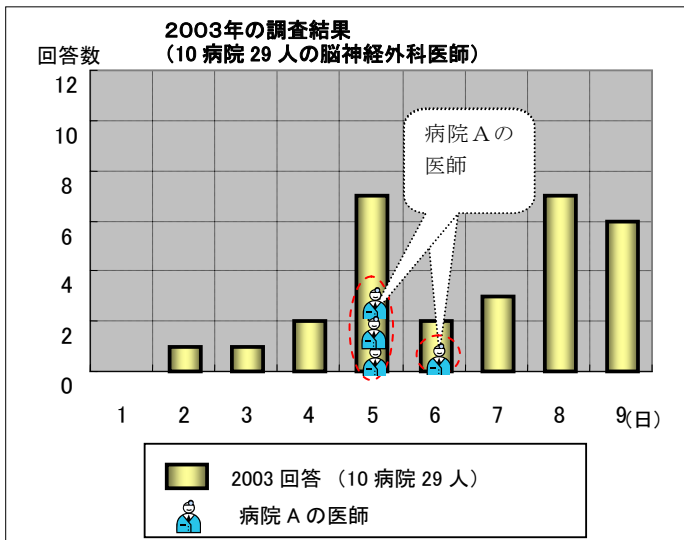
QIP アウトプットサンプル集

# 抗 生 剤 の 使 用 状 況 調 査

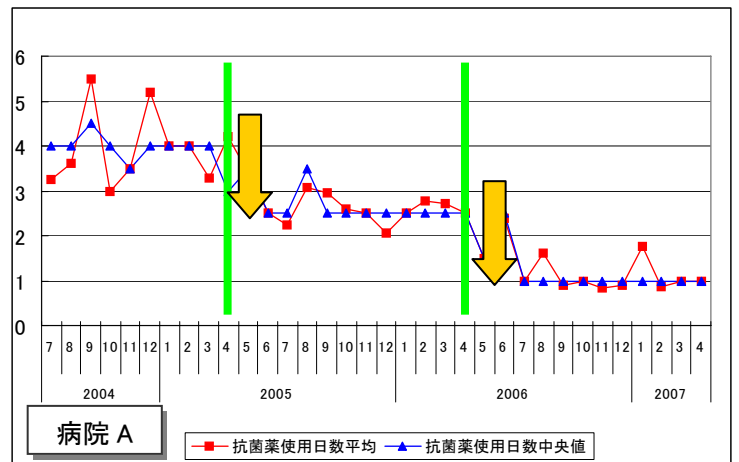
抗生剤の適切な使用は、重要な感染対策の一つです。わが国では抗生剤が過剰に使用されていると指摘されてきましたが、近年各学会を中心として、ガイドラインの整備などを通じて抗生剤投与法を見直そうという動きがあります。また DPC による支払いの包括評価制度も、使用量を制限するインセンティブとして働く傾向があります。

QIP は様々な視点から、抗生剤の使用状況に関する検討を加えてきました。DPC 基礎調査レセプトデータダウンロード・データは、各症例において使用された抗生剤の種類・量・投与期間など詳細な情報を含んでいます。QIP は、主要な疾患・術式における抗生剤使用パターンを調査しています。

脳動脈瘤クリッピング抗生剤投与日数の分布



胃切除における予防的抗生剤投与の経過時的推移



この調査は、典型的な外科手術(胃切除術・頸部骨折手術など)において、各病院の外科系医師がどのように抗生剤の予防的投与を行っているか、アンケート調査したものです。グラフは術式別に表示され、棒グラフが参加病院の全医師の回答の分布、医師のマークは病院 A に勤務する脳外科医師の回答の分布を、投与期間別に表示しています。

※これはリストの一部を掲載しています。

主要術式における抗生剤使用状況

診断群分類 [手術名] 番号(10桁)	病院	診療科	全症例数	抗生剤使用内訳		最も多く使用された抗生剤上位3位の内訳					
				抗生剤使用症例数	抗生剤使用症例の割合(%)	順位	抗生剤名	使用された症例数	使用患者1人当たり使用量(中央値)	使用患者1人当たり薬価(中央値)	使用患者1人当たり使用日数(中央値)
胃の悪性腫瘍 [胃全摘術, 胃切除術 悪性腫瘍手術等] 060020xx01 060020xx02	A	外科	81	73	(90.1%)	1	CEZ	72	3.0	1,023	1
						2	MEPM	8	4.0	13,960	4
						3	LVFX	5	0.9	1,704	3
	B	外科	44	44	(100.0%)	1	CEZ	43	6.0	1,272	3
						2	SBT/ABPC	4	16.5	12,320	5
						3	VCM	2	14.5	61,161	7
	C	外科	42	42	(100.0%)	1	CEZ	42	5.0	730	2
						2	LVFX	5	0.3	552	1
						3	CZOP	3	14.0	24,416	6
	E	消化器外科	44	42	(95.5%)	1	CEZ	42	8.0	3,936	4
						2	IPM/CS	7	5.0	18,860	6
						3	VCM	1	12.0	54,960	6
F	外科	47	47	(100.0%)	1	CEZ	47	3.0	645	1	
					2	CMZ	8	11.5	4,152	6	
					3	SBT/CPZ	5	8.0	7,312	4	